福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金							事業コード	030101450274		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521		
事業担当	所属	080200 総務部財政課				所属長	伊達 大史				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	101	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国府負担事業、特別会計への繰出金 ）										
関連事業	国民健康保険事業特別会計各事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国民健康保険とは、都道府県及び市町村が保険者となって運営する公的な医療保険制度である。 国民健康保険事業特別会計は国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るために設置するものであり、保険料等の特定の収入を基に事業運営を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 国民健康保険事業において、保険料等の収入のみでは安定した運営ができないのが実情である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 国民健康保険事業の健全な運営を図るための国民健康保険事業特別会計に対する繰出金。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 人件費、その他国民健康保険事業特別会計運営に必要な経費等に対して一般会計から繰出金として支出する。 産前産後保険料負担金：民生費府負担金：221

対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	—	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 特別会計への繰出金 ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
繰出金	612,273	国民健康保険事業特別会計への繰出金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		601,693	588,171	632,480	0
	② 補正予算		12,811	38,950	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			614,504	627,121	632,480	
予算財源内訳	① 一般財源		361,487	351,665	354,977	
	② 国支出金		59,986	68,268	69,041	
	③ 府支出金		193,031	207,188	207,762	
	④ 地方債		0	0	700	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		△ 528	△ 2,000		
	② 配当予算		613,976	625,121		
	③ 執行額		589,619	612,273		
	④ 執行率		96.0%	97.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.03 / 0.00	0.01 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		240	88		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			589,859	612,361		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料		頁
	国保基盤安定負担金(保険者支援分)	民生費国庫負担金	66,478		13	
	国保基盤安定負担金(保険料軽減分)	民生費府負担金	173,053		20	
	国保基盤安定負担金(保険者支援分)	民生費府負担金	33,239		20	
	未就学児均等割保険料負担金	民生費国庫負担金	1,345		13	
	未就学児均等割保険料負担金	民生費府負担金	672		20	
	産前産後保険料負担金	民生費国庫負担金	442		14	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価のため入力なし】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	百万円	612.2	601.8	589.6	612.3		
	繰出金決算額	当初見込		632.2	641.2	601.7	588.1	632.5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	繰出基準等に基づき国民健康保険事業特別会計に一般会計から繰出を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	繰出を行うことにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。今後も適正に繰出を実施する必要がある。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大阪・関西万博への催事等出展事業（健康医療課）							事業コード	040101202503		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521			
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	01保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	129	頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	京都府献血推進計画			R8現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律・福知山市骨髄ドナー助成事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	献血・骨髄バンク推進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・日本骨髄バンク財団の設立に大きく貢献された福知山市民の功績を踏まえ、令和2年度に「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を実施した。 ・大阪・関西万博における内閣府主催「地方創生SDGsフェス」に「希望する全ての人が輸血や骨髄移植を受けることのできる社会」をテーマにブース出展を応募し、採択された。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 都市宣言実施当時はコロナ禍であり、目立った活動はできなかったので、都市宣言については広く認知されていないと考える。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 献血と骨髄バンクをテーマとした展示ブースを出展することで、都市宣言をしている本市の取組を国内外へ発信するとともに、献血と骨髄バンクへの理解を深める契機とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・万博期間中における「地方創生SDGsフェス」へのブース出展 ・出展内容は、献血・骨髄バンクに関するパネル展示、体験企画等 ・イベント終了後、献血推進月間や骨髄バンク推進月間における展示や市民憲章推進大会などでの展示を計画。

対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社レントオール福知山、公立大学法人福知山公立大学					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	188	翻訳謝礼、出務謝礼、講師謝礼			
旅費	209	催事出展に係る旅費			
需用費	119	消耗品費			
役務費	10	郵送料			
委託料	1,171	その他業務委託料			
使用料及び賃借料	341	入場料、賃貸借料、高速道路通行料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	2,170	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	2,170	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	1,085	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	1,085	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 124		
	② 配当予算	0	2,046		
	③ 執行額	0	2,039		
	④ 執行率		99.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.56 / 0.45	/	/
	② 概算人件費	0	5,740		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	7,779		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
大阪・関西万博への催事等出展事業（健康医療課）（きょうと地域連携交付金）	衛生費府補助金	938	24	
保健衛生指定寄附金	衛生費指定寄附金	250	33	
大阪・関西万博への催事等出展事業（健康医療課）基金繰入	基金繰入金	815	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	―	24.5		
	「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」 市民認知度	目標値		―	―	―	20	20	
		達成度	%	―	―	―	123%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	―	―	―	5		
	本市でのブース出展	当初見込		―	―	―	3	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	万博出展後、献血推進月間や骨髄バンク推進月間などでの再展示。万博を最大限活用し、都市宣言としての取組をPRする。 万博展示コンテンツを有効活用し、市内児童クラブでの活用・市内外でのイベント出展を行い、無関心層へのアピールを行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	132	121	111	117		
	骨髄バンク新規登録者数	目標値		120	120	120	120	120	
		達成度	%	110%	101%	93%	98%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	86	81	109	114		
	献血・バンク登録会の実施	当初見込		60	60	60	90	90	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・血液センターと連携し、献血並行型の登録会を実施。 ・福知山マラソンにてランナーに骨髄バンク応援ランナーを募集。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・献血者や骨髄バンク登録者ともに、30代以下の若い世代の割合は少ない。献血・骨髄ドナーの年齢制限があり、コア層である40～50代は、今後卒業（年齢制限を超える）する見込みが高く、将来的に血液製剤やドナー数の不足が懸念される。 ・「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」実施当時はコロナ禍であり、目立った活動はできなかったため、都市宣言については広く認知されていないと考える。R7年度健康増進計画アンケートでは、全体的な認知度は24.5%と目標を達成したが、20～40代では「知らない」と答える割合が8割を超えた結果となった。
現状の課題に対する改善策	・今回の万博イベントのメインターゲットはファミリー層や若年層であり、課題とする若年層や新規層へ働きかける。 ・万博を契機に、関係団体とより密な連携を図ることで、万博後の本市での取組にも活かしていく。 ・今回の企画を最大限活用し、市内においても宣言都市の認知度の向上を図るとともに、献血や骨髄バンク登録の重要性を広く普及させ、希望する人が輸血や骨髄移植を受けることのできる社会の実現に向け取り組んでいく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	献血・骨髄バンク推進事業							事業コード	040101410207		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課				所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	01保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	130	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	京都府献血推進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律・福知山市骨髄ドナー助成事業実施要綱										
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	大阪・関西万博への催事等出展事業（健康医療課）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年、新型コロナウイルス感染症の影響により献血機会が減少した中にも関わらず、本市の献血人数等は増えており、目標人数4,000人を超える献血者を確保できている。 令和2年に「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を行ったが、当時はコロナ禍であり、主だった啓発活動が行えなかった。令和6年度からは、教育機関への出前講座や講演会、ナイト献血、福知山マラソンでの啓発活動などの外部に向けた啓発活動に力を入れている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 少子高齢化の影響により、若年層の献血者数の減少が顕著となっている。また献血・骨髄ドナー登録ともに年齢制限があり、今後献血者・ドナー登録割合が多い40歳代以上の世代が上限年齢を迎えていく事で、ますます献血者やドナー登録者数の減少が予想される。その為、若年層への普及啓発や複数回献血を推進する活動を行う。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 輸血用血液製剤をはじめとする血液需要に見合う安全な血液を、安定的に確保する。また、骨髄バンクの登録者を確保することにより、市民が安心・安全に生活できるまちづくりを目指す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・学校や企業に向けて献血と骨髄バンクに関する啓発の実施 ・福知山市献血推進協議会の活動に対し負担金を交付 ・NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会に補助金を交付 ・骨髄ドナー提供者への助成 ・継続して献血を行ったものに対し、啓発物品の配布・表彰を行う
対象者	全市民　　対象者数：74,000　　単位あたりコスト：0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	福知山市献血推進協議会・NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	32	講師謝礼			
旅費	17	講座出務に対する旅費			
需用費	1	啓発物作成			
負担金補助及び交付金	736	骨髄ドナー助成金、補助金交付、献血推進協議会運営負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,071	636	1,018	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,071	636	1,018	
予算財源内訳	① 一般財源	791	496	478	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	280	140	140	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	400	
決算情報	① 流充用額	50	180		
	② 配当予算	1,121	816		
	③ 執行額	1,092	786		
	④ 執行率	97.4%	96.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.85 / 0.45	0.60 / 0.60	/	/
	② 概算人件費	8,060	6,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		9,152	7,266		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	骨髄ドナー助成事業補助金	衛生費府補助金	210	24	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	4,415	4,369	4,392	4,440		
	年間採血者数	目標値		4,000	4,000	4,300	4,300	4,300	
		達成度	%	110%	109%	102%	103%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	86	81	109	114		
	献血・バンク登録会の実施	当初見込		60	60	60	90	90	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	日中の献血時間では、都合がつかず献血がしたくてもできなかった方々に対し、ナイト献血（16:30～18:30）を実施。 新規献血者を開拓するために、魅力的な啓発資材提供やマスコットキャラクターなどの利用を行う。 献血を継続する意思がある方に対し、複数回献血を実施した場合は、献血記念品や感謝状などの贈呈を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	132	121	124	117		
	骨髄バンク新規登録者数	目標値		120	120	120	120	120	
		達成度	%	110%	101%	103%	98%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	86	81	91	114		
	献血・バンク登録会の実施	当初見込		60	60	60	90	90	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	骨髄ドナー登録説明員を担うNPO法人に対し、補助金の交付。 NPO法人と協力し、福知山公立大学献血・骨髄バンクボランティアサークル「ぽぴー」の設立、骨髄ドナー説明員の資格取得のサポートを行った。 福知山マラソンにて、チャリティに関心をもたれる層に向けて、日本代表として参加された著名なランナーを誘致し、啓発活動を実施しつつマラソンを走っていただいた。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	血液センター・NPO法人と連携し、市内献血・バンク登録会場は継続して、確保はできた。急遽の献血会場確保も血液センターと協力し、献血会場の確保ができた。（市役所・夜久野支所・大江支所・各企業） 人工的に生成できない血液・骨髄の安定供給には、継続的な献血と新規骨髄ドナー登録が必要であり、新規層・若年層への啓発活動は必須である。 また、骨髄バンクについては、骨髄移植コーディネートが仕事等のドナー都合で終了する事が課題となっている。しかし国内企業でのドナー休暇普及率は5%にとどまっている。企業に向けてドナー休暇の周知・普及活動を実施していく必要がある。 福知山マラソンでの応援ランナーも年々増加（R6：35人　R7:44人）チャリティとボランティア活動の融和を図り、関心層の増加をめざす。
現状の課題に対する改善策	血液需要に見合う血液を安定的に確保するため、集団献血の機会を確保する。 課題である若年層への普及啓発については、血液センター等関連機関との連携を強化し、献血セミナーの回数や企画内容の充実を図っていく。 令和7年度設立となった、福知山公立大学献血・骨髄バンクボランティアサークルとの協力体制を確保し、若年層（大学生）に対しての啓発に力を入れていく。 著名ランナーに福知山マラソンでの骨髄バンク応援ランナー啓発活動を継続していただき、市内外へ取組の発信・支援の輪を広げていく活動を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	保健衛生一般経費事業							事業コード	040101410301		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課				所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	01保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	130・131	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	保健師看護師助産師法第28条の2及び福知山市予防接種事業災害補償規則、健康増進法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 健康増進法等に基づく健康推進事業を行うための管理的経費
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・健康推進事業における備品等の購入 ・研修会参加の増加 ・人事異動を伴う体制での健康管理システムの維持・更新
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） だれもが幸せを生きるまちづくりのため、健康推進事業を円滑に運営する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・健康推進事業を円滑に行うための管理的経費　・保健師における研修に係る経費 ・備品購入に係る経費　・健康づくり推進協議会運営の経費 ・消耗品に係る経費 ・健康管理システムの改修・保守、システム標準化に係る経費

対象者	全市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（株）ケーケーシー情報システム、オリックス・ファシリティーズ(株)、福知山市衛生協会、一般社団法人福知山医師会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	80	委員報酬	使用料及び賃借料	358	複写機使用料、AED賃借料、高速道路等通行料
報償費	20	講師謝礼	備品購入費	378	備品購入
旅費	120	研修会・参加協議会等参加旅費	負担金補助及び交付金	3,699	補助金、参加協議会等負担金
需用費	609	消耗品費、燃料費、印刷製本費			
役務費	1,891	保険料、郵送料、ごみ廃棄手数料			
委託料	12,212	電子計算機等保守管理料、開発・改修業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	18,162	20,337	20,481	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	18,162	20,337	20,481	
予算財源内訳	① 一般財源	5,214	9,834	9,441	
	② 国支出金	12,948	10,503	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	11,040	
決算情報	① 流充用額	△ 499	△ 145		
	② 配当予算	17,663	20,192		
	③ 執行額	11,906	19,367		
	④ 執行率	67.4%	95.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.60 / 1.04	1.72 / 1.10	/	/
	② 概算人件費	15,712	16,840		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		27,618	36,207		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	保健衛生一般経費事業（デジタル基盤改革支援補助金）	衛生費国庫補助金	10,502	16	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	10	5	5		
	保健師研修参加回数	当初見込		13	10	9	5	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	健康推進事業推進のための専門職である保健師の育成のため、研修へ参加する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・健康管理システムの改修及び保守を行い、安定した健康推進事業体制の構築が図れた。システム管理には経験と知識が必要であるが、人事異動を伴う体制の中で、運用するには、ベンダーやDX推進課等と密に連携する必要がある、 ・必要と判断する備品・物品の購入を安定的に購入し、緊急的に必要な物品等にも対応をした。 ・保健師等に関わる研修会への積極的参加を図る必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症流行時の対応を踏まえて、次なる新興感染症等の脅威に備え、平時から感染症危機に備えた物品の備蓄を行い、体制を整えている。 ・熱中症特別警戒アラートが令和6年から運用開始となり、令和7年度には、一時、福知山市が全国一の暑さを観測した。健康危機管理対策事業として、熱中症対策についても今後、検討していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・保健師、栄養士における研修参加への時間確保等を行う。 ・令和7年度予定のシステム標準化にあたっては、委託業者と密に連携を図りながら、円滑に更新できるよう努めた。健康管理システムは、令和8年2月12日から本稼働できている。令和9年度の予防接種事務デジタル化に向けて、さらなる改修をベンダー、関係機関と協力し実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	保健福祉センター維持管理事業							事業コード	040101410313	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	01保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	131 頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	保健福祉センター条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民の保健福祉に係る拠点として中央保健福祉センター、北部保健福祉センター、東部保健福祉センター、西部保健福祉センターを設置している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 北部保健福祉センター及び東部・西部保健福祉センターにおいての施設老朽化に伴う、修繕箇所の把握及び対応。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） だれもが幸せを生きるまちづくりのため、円滑な健康推進事業の推進に向けて、保健福祉センターを継続して維持管理していく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・円滑な健康推進事業の運営及び保健福祉サービス提供 ・施設修繕回数：4回（令和7年度実績）

対象者	全市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	三精テクノロジーズ（株）・姫路ナブコ（株）・（株）丹新ビルサービス					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	1,386	燃料費、光熱水費、消耗品費			
役務費	232	電話料、手数料			
委託料	555	その他機械設備等保守管理業務			
負担金補助及び交付金	6	参加協会年会費			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,107	2,686	2,971	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,107	2,686	2,971	
予算財源内訳	① 一般財源	2,829	2,506	2,797	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	278	180	174	
決算情報	① 流充用額	△ 339	0		
	② 配当予算	2,768	2,686		
	③ 執行額	2,768	2,178		
	④ 執行率	100.0%	81.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.23 / 0.00	0.20 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	1,840	1,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,608	3,778		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
電柱占有料	衛生使用料	9	8	
北部保健福祉センター光熱水費	雑入	182	42	
中央保健福祉センター冷暖房費	雑入	4	42	
健康医療課（自動車損害共済返戻金）	雑入	5	48	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	－	－	4	4		
	適切に運営・管理されている施設数	目標値		－	－	4	4	4	
		達成度	%	―	―	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	3	4	4		
	修繕回数	当初見込		2	3	4	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・修繕が必要となった際の円滑な業者対応等を実施 ・各保健福祉センター職員との連携強化								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・保守点検業者及び各保健福祉センター職員との連携により、早急に対応すべき箇所の把握及び修繕を円滑に実施できている。 ・北部保健福祉センターにおいて建設当初から28年の年数が経過しているため、老朽化により修繕必要箇所が増えている。 ・北部保健福祉センターが包括管理の対応施設となり、軽微な修繕（ドアクローザーの調整等）も対応してもらえている。
現状の課題に対する改善策	・今後も保守点検業者及び各保健福祉センター職員との連携を維持していく。 ・令和7年度より施設管理について一部は資産活用課による包括管理業務となっている。令和9年度には、エレベーター保守・自動扉保守・消防設備保守も包括管理業務となるので、移行を円滑にできるよう資産活用課と情報共有が行えるようにする。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	帯状疱疹ワクチン接種事業					事業コード	040102202401			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521			
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課			所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	02予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	132 頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	予防接種法、福知山市定期B類予防接種事業実施要綱、福知山市帯状疱疹ワクチン接種費用助成金交付要綱									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 帯状疱疹は80歳までに3人に1人が罹患すると推定され、合併症の一つである帯状疱疹後神経痛はワクチンを接種することで発症の予防や合併症を抑えられる。50歳以降で罹患率が高くなり、ピークは70歳代。帯状疱疹後神経痛は睡眠や日常生活を障害するほど重篤な場合があり、帯状疱疹症例の10～50%で生じ、加齢が重要なリスク因子となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 帯状疱疹ワクチンの接種費用は、生ワクチンは8,000～10,000円、組換えワクチン20,000～25,000円と高額であり、組換えワクチンについては2回接種が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 帯状疱疹ワクチンを接種し、帯状疱疹の発症予防や重症合併症の発症を抑えることで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【①定期接種】＜実施方法＞委託医療機関で帯状疱疹ワクチンを接種する。＜対象者＞当該年度に65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳以上になる人。または接種日時点60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する病気で身体障害者手帳 1級保持者。＜自己負担金＞「ビケン」 4,000円、「シングリックス」 10,000円×2回 ＜実施期間＞令和7年4月1日～令和8年3月31日 【②任意接種】＜実施方法＞助成委任受託医療機関で接種：助成額を差し引いた費用を医療機関へ支払う。助成委任受託医療機関以外で接種：本人申請により助成。＜対象者＞接種日時点で50歳以上の市民で過去に市の助成を受けていない、あるいは定期接種で接種をしていない人。または18歳以上50歳未満で医師が必要と認めた者＜助成額＞「ビケン」 3,000円、「シングリックス」 8,000円×2回 ＜実施期間＞令和7年4月1日～令和8年3月31日※令和8年度で終了予定

対象者	実施概要参照		対象者数	37,780	単位あたりコスト	1.5
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山医師会、市外の協力医療機関					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	153	消耗品費、印刷製本費			
役務費	583	郵送料、広告料			
委託料	46,301	帯状疱疹ワクチン接種業務委託・助成委託			
扶助費	74	償還払い			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	10,762	25,374	44,693	0
	② 補正予算	10,427	15,164	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		21,189	40,538	44,693	
予算財源内訳	① 一般財源	21,189	40,538	44,693	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	6,573		
	② 配当予算	21,189	47,111		
	③ 執行額	20,406	47,111		
	④ 執行率	96.3%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.45 / 0.53	0.71 / 0.91	/	/
	② 概算人件費	5,084	8,228		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,490	55,339		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	―	32		
	【定期】接種率	目標値		―	―	―	12	12	
		達成度	%	―	―	―	267%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	医療機関	―	―	―	42		
	【定期】協力医療機関数	当初見込		―	―	―	35	38	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・医療機関への丁寧な説明 ・対象者への個別通知、帯状疱疹ワクチンが定期接種化となったことの周知（広報カード、広報ふくちやま、ホームページ、LINE等） ・無料制度の設定、他市接種依頼等での福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	―	―	2,069	648		
	【任意】助成金交付者数（延）	目標値		―	―	770	850	850	
		達成度	%	―	―	269%	76%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	医療機関	―	―	31	38		
	【任意】助成委任受託医療機関数	当初見込		―	―	31	32	33	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・医療機関への丁寧な説明 ・市民への助成制度の周知（広報カード、広報ふくちやま、ホームページ等）								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・【定期】と【任意】2つの接種の仕方があることで医療機関・市民の混乱が年度当初あった。 ・【定期】は法令上の業務であり、継続して実施していく。また当初の想定より多くの人が接種しており、補正予算を組むこととなった。他市接種における償還払いや無料制度について、問い合わせがあった時は丁寧に説明を行っており、引き続き周知に努める。他市接種は申請、依頼先との調整等で申請から接種までに時間を要する。 ・【任意】は令和6年度より開始した事業で、市民や医療機関から多数の問合せがあったが、丁寧に説明を行い、順調に接種から費用助成まで実施できている。また、市内医療機関については、接種者が医療機関代理受領を委任する形をとり、助成額を差引いた金額を支払い、手続き等の負担軽減に繋がっている。助成人数については令和6年度より減少傾向にある。
現状の課題に対する改善策	・医療機関や市民に丁寧な説明や周知。（医療機関への事前説明、ホームページや広報ふくちやま等を用いた市民への周知） ・他市接種においては、問い合わせに対しては引き続き丁寧に説明し、スムーズな接種や事後処理ができるようにしていく。接種者数が多い医療機関については個別契約も提案し、接種者にかかる負担を軽減できるようにする。また、定期接種において実績のある医療機関には、事前に対象者の有無の確認や無料制度について説明し、該当の場合は、事前に申請をしてもらえるよう対応する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	インフルエンザ予防接種事業							事業コード	040102410319	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課				所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	02予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	132・133 頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法、福知山市定期B類予防接種事業実施要綱、福知山市障害のある人のためのインフルエンザ予防接種実施要綱									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	新型コロナウイルスワクチン接種事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・インフルエンザは高齢者で特に重症化しやすく、肺炎や死亡のリスクが高い。 ・予防接種法に基づき、高齢者インフルエンザ予防接種は「B類疾病」に分類されており、接種を希望する人には市町村が予防接種を実施する義務がある。 ・障害のある人は、免疫の低下や体調不良を自ら訴えづらいことから感染リスクが高く重症化しやすい、
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・インフルエンザ予防接種を希望する人に、適切に予防接種が実施される体制の確保。 ・高齢者は約6割、障害のある人は約7割の接種率で推移している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 予防接種法に基づき高齢者及び障害のある人がインフルエンザワクチンを接種することにより、インフルエンザを発症又は重症化することを防止することで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】委託医療機関でインフルエンザワクチンの接種を受ける。 【対象者】①満65歳以上の高齢者と、60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、HIV感染による免疫機能障害の身体障害者手帳1級保持者(22,653人) ②満64歳以下で身体障害者手帳1級・2級及び療育手帳A保持者(740人) 【自己負担金】1,500円 ※無料制度あり 【実施期間】令和7年10月1日～令和8年1月31日

対象者	接種日において①65歳以上の高齢者②64歳以下で障害のある人	対象者数	23,393	単位あたりコスト	2.7
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	京都府医師会、福知山医師会、市外の協力医療機関、京都府国民健康保険団体連合会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	464	消耗品費、印刷製本費			
役務費	192	郵送料、国保連合会事務手数料			
委託料	52,840	個別接種に係る委託料			
扶助費	106	市外等接種に係る償還払い			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	58,595	58,003	55,784	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		58,595	58,003	55,784	
予算財源内訳	① 一般財源	58,595	58,003	55,784	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 2,851	0		
	② 配当予算	55,744	58,003		
	③ 執行額	54,963	53,602		
	④ 執行率	98.6%	92.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.76 / 1.12	0.77 / 1.04	/	/
	② 概算人件費	9,216	9,072		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		64,179	62,674		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0	0	0	未確定		
	インフルエンザ死亡者数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	59	57.2	54.1	54.2		
	接種率（高齢者）	当初見込		62.4	61.3	61.4	57.5	57.5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・広報ふくちやま、市SNSを活用した情報発信 ・各戸配布による市民への周知 ・無料制度の設定、他市接種依頼等での福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0	0	0	未確定		
	インフルエンザ死亡者数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	73.7	73.4	69.8	69.7		
	接種率（障害のある人）	当初見込		74.4	74	74	73.6	75	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・広報ふくちやま、市SNSを活用した情報発信 ・対象者について障害者福祉課と共有し、対象者には個別通知を行う。 ・無料制度の設定、他市接種依頼等での福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・高齢者のインフルエンザ予防接種事業は法令上の業務であり、継続していく。 ・高齢者だけでなく障害のある人についても重症化のリスクが高いため、ワクチンの接種によりインフルエンザの発症・重症化を防止し、社会的な流行を防ぐことが重要である。 ・他市接種における償還払いや無料制度について、問い合わせがあった時は丁寧に説明を行っており、引き続き周知に努める。他市接種は申請、依頼先との調整等で申請から接種までに時間を要する。 ・障害のある人については、本市で手帳を発行している対象者は障害者福祉課と共有し、個別通知を送付しているが、他市で発行された手帳保持者は把握できないため、施設・本人からの申請により対応している。
現状の課題に対する改善策	・法令上の業務である為、継続して周知を図っていく。 ・他市接種においては、問い合わせに対しては引き続き丁寧に説明し、スムーズな接種や事後処理ができるようにしていく。また実績のある医療機関には、事前に対象者の有無の確認や無料制度について説明し、該当の場合は、事前に申請をしてもらえるよう対応していく。また、接種者数が多い医療機関については個別契約も提案し、接種者にかかる負担を軽減できるようにする。 ・障害のある人は、今後も継続して障害者福祉課と情報共有し、個別通知を実施。本市に住民票はあるが他市での手帳発行者は本人からの申請が必要である。そういった人は施設入所者の場合が多い為、実績のある施設については事前に電話でインフルエンザ予防接種の希望の有無を確認し、必要に応じて申請の説明を行っていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業							事業コード	040102410378	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	02予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	134 頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法、福知山市定期B類予防接種事業実施要綱									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・高齢者で特に基礎疾患がある人は肺炎の重症化リスクが高いため、肺炎予防のひとつの方法としてワクチン接種が有効。 ・肺炎による死亡者の97.9%が65歳以上（人口動態統計2021年より） ・令和6年度から接種対象者の経過措置が終了し、65歳からの5歳刻みの対象年齢から、65歳前日～66歳前日のみに変更となった。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・肺炎球菌ワクチン予防接種の接種率が低い。 ・対象者によって誕生日が異なるため、有効期限が対象者によって異なり、接種率の算出が難しい。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 予防接種法に基づきワクチン接種を行い肺炎の予防と重症化を防ぐことで、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】委託医療機関で肺炎球菌ワクチンを接種する。65歳誕生日の前月または当月に有効期限記載された予診票を発送する。 【対象者】①65歳前日～66歳前日　②60歳以上65歳未満の心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能又は人免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省に定める人（身体障害1級の手帳保持者、又は同程度の者と医師の診断書で確認できる人）ただし、これまで23価肺炎球菌ワクチンを接種したことがない人。【自己負担金】4,000円（生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料）【実施期間】令和7年4月1日～令和8年3月31日（予診票有効期間とは異なる）

対象者	65歳の市民で予防接種未接種かつ接種を希望している者	対象者数	724	単位あたりコスト	7.5
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	京都府医師会、福知山医師会、市外の協力医療機関、京都府国民健康保険団体連合会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	17	消耗品費			
役務費	113	郵送料、国保連合会事務手数料			
委託料	1,701	個別接種に係る委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,985	2,119	1,664	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	3,985	2,119	1,664	
予算財源内訳	① 一般財源	3,985	2,119	1,664	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 11	0		
	② 配当予算	3,974	2,119		
	③ 執行額	1,161	1,831		
	④ 執行率	29.2%	86.4%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.27 / 0.46	0.36 / 0.26	/	/
	② 概算人件費	3,448	3,608		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,609	5,439		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	43	34	52	未確定		
	肺炎での死亡者数（市）	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	44.2	32.7	22.2	41.1		
	65歳の接種率	当初見込		60	60	50	44	44	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	予診票を発送して3か月以上経過している人のうち、未接種者に接種勧奨を2回に分けて実施。（4～9月誕生日：12月～翌年1月に接種勧奨予定、10～3月誕生日：6～7月に接種勧奨予定）予診票送付時の封筒に、「接種できるのは65歳のみ」であることを黄色シールを貼って強調。（令和6年度から）予診票送付時に肺炎のリスクについてのリーフレット、無料申請の説明、実施医療機関を同封。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・福知山市における肺炎の死亡者が大きく上昇していないことから、ハイリスク者である高齢者の接種は有効であると評価している。 ・経過措置のため、平成26年度から令和5年度までは対象者は65・70・75・80・85・90・95・100歳であったが、令和6年度より満65歳のみに変更。 ・肺炎の予防、重症化予防のために接種率を増やしていく必要があるが、高齢者の肺炎球菌感染症はB類疾病で個人の判断による予防接種であるため、例年接種目標値を下回っている。 ・令和8年度から肺炎球菌ワクチンの種類と自己負担額が変更する予定。
現状の課題に対する改善策	・予診票発送後の未接種者への接種勧奨を実施し、接種希望者が期間内に接種できるようにする。 ・令和8年度から肺炎球菌ワクチンの種類と自己負担額が変更になることを対象者や医療機関に周知し、スムーズに移行できるようにする。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業					事業コード	040102410397		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課			所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	02予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料 135 頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	予防接種法、福知山市定期B類予防接種実施要綱、福知山市障害のある人のための予防接種実施要綱								
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	インフルエンザ予防接種事業								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・令和6年度より特例臨時接種からB類疾病の定期接種として、市町村に実施義務がある。(予防接種法第5条1項) ・障害のある人は免疫が低下したり、体調不良を自ら訴えづらいため、感染リスクが高く重症化しやすい。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・国の補助終了により令和7年度から自己負担金を増額したことで、接種率が減少している。 ・新型コロナワクチン接種を希望する人に、適切に予防接種が実施される体制の確保。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 予防接種法に基づき、高齢者や障害のある人が新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の感染又は重症化することを防止することで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】委託医療機関で、コロナワクチンを接種する。 【対象者】下記対象者のほか、60歳から65歳未満の人であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、又はヒト免疫不全ウィルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省に定める人(身体障害者1級の手帳保持者、又は同程度の者と医師の診断書で確認できる人) 【自己負担金】7,500円(市民税非課税世帯・生活保護世帯は無料) 【実施期間】令和7年10月1日～令和8年1月31日(感染状況に応じて期間変更あり)

対象者	接種日において①65歳以上の高齢者②64歳以下で障害のある人	対象者数	23,398	単位あたりコスト	2.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都府医師会、市外の協力医療機関、京都府国民健康保険団体連合会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	302	消耗品費、印刷製本費			
役務費	40	郵送料、国保連合会事務手数料			
委託料	39,304	個別接種に係る委託料			
扶助費	126	市外接種に係る償還払い			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	0	0	57,041	0
	② 補正予算	69,561	58,739	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	69,561	58,739	57,041	
予算財源内訳	① 一般財源	31,298	58,739	57,041	
	② 国支出金	38,263	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	2,823	△ 6,573		
	② 配当予算	72,384	52,166		
	③ 執行額	72,246	39,772		
	④ 執行率	99.8%	76.2%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.70 / 4.03	0.57 / 1.32	/	/
	② 概算人件費	16,884	8,256		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		89,130	48,028		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	43	34	52	未確定		
	中丹西保健所管内における肺炎による死亡者数	目標値		40	40	40	40	40	
		達成度	%	108%	85%	130%	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	21.2	12..5		
	定期コロナワクチン接種率	当初見込		―	―	58	21	20.3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・お知らせ文書の各戸配布 ・無料制度の設定と、他市接種依頼等の福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	43	34	52	未確定		
	中丹西保健所管内における肺炎による死亡者数	目標値		40	40	40	40	40	
		達成度	%	108%	85%	130%	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	43.7	40.4		
	障害のある人のための新型コロナワクチン接種率	当初見込		―	―	70.3	43	43	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・対象者について障害者福祉課と共有し、対象者には個別通知を行う。 ・市民税非課税世帯・生活保護世帯への接種費用助成を行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・高齢者の新型コロナウイルス予防接種は法令上の業務であり、継続して実施していく。 ・令和7年度から国の補助終了に伴い自己負担金を3,000円から7,500円に増額したことで、昨年度より接種率が減少。接種者に占める市民税非課税・生活保護世帯の無料接種者数が増加している。 ・障害のある人についても、リスクが高く重症化しやすいため、新型コロナウイルス感染症の発症・重症化を防止し、社会的な流行を防ぐことが重要である。 ・ワクチンの安全性に関すること、無料制度や他市接種における償還払い等、市民から問合せが多くあり、その都度丁寧に説明している。
現状の課題に対する改善策	・予防接種の有効性など、同時期開始のインフルエンザ予防接種と併せて市民に啓発を行う。 ・障害のある人のための新型コロナウイルスワクチン接種では、接種者数が多い市外の医療機関については個別契約を提案し、接種者に係る負担を軽減できるようにする。 ・障害のある人は、今後も継続して障害者福祉課と情報共有し、個別通知を実施する。本市に住民票はあるが、他市での手帳発行者は本人からの申請が必要であり、施設入所者が多いため、施設と事前に接種希望の有無の確認や無料申請等の手続きについて丁寧に説明を行っていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	がん患者のための生活支援事業						事業コード	040104202501		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課				所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136 頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	第４期がん対策推進基本計画、福知山市がん患者アピアランスケア支援事業実施要綱、福知山市若年がん患者在宅療養支援事業実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・がん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加している。 ・がん治療と学業や仕事との両立を可能とし、治療後も同様の生活を維持するうえで、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要である。 ・40歳未満の末期がん患者が在宅療養を希望した場合、年齢により介護保険制度は適用されない。（40歳以上は介護保険制度、18歳未満は小児慢性特定疾病の医療費助成が適用される。）
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・経済的支援と並行して、制度に係る情報発信が必要。 ・がん患者に対する多方面からのサポートを行っている医療機関との連携が必要。 ・在宅療養を支援するサービス提供事業所との調整が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） がんになっても安心して生活でき、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現する。 ・がん患者の外見変化をケアすることで、がん患者の治療と社会参加等の両立を支援。 ・末期の若年がん患者及び家族の負担軽減を図り、住み慣れた自宅での療養生活を支援。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること がん治療に伴う外見変化に対するアピアランスケア支援事業と、在宅療養生活における患者と家族の負担軽減のための若年がん患者在宅療養支援事業を実施する。 ①アピアランスケア支援事業：医療用ウィッグ、胸部補整具の購入費用に係る助成。 ②若年がん患者在宅療養支援事業：在宅サービスの利用や必要となる福祉用具の貸与・購入に係る費用の一部を助成。

対象者	①がん治療に伴う脱毛・乳房切除手術を受けた人。 ②18歳から40歳未満のがん末期で在宅療養を希望する人。	対象者数	32	単位あたりコスト	121.9	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山市・京都府					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	3	消耗品費			
役務費	74	郵送料、広告料			
扶助費	512	アピアランスケア支援事業・若年がん患者在宅療養支援事業助成金			

Ⅲ 予算執行状況

区　　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		0	1,934	1,901	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		0	1,934	1,901	
予算財源内訳	① 一般財源		0	1,735	1,702	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	199	199	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		0	1,934		
	③ 執行額		0	590		
	④ 執行率			30.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.00 / 0.00	0.40 / 0.04	/	/
	② 概算人件費		0	3,312		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			0	3,902		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	がん患者アピアランスケア・在宅療養支援事業	衛生費府補助金	11	24	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	―	―	21		
	助成延件数	目標値		―	―	―	32	32	
		達成度	%	―	―	―	66%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	―	―	―	10		
	医療機関や介護事業所等への事業説明	当初見込		―	―	―	10	16	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	初年度は市内・市外のがん治療病院に加えて、在宅療養者の利用が想定される訪問入浴事業所、福祉用具事業所に説明。令和8年度以降は訪問介護看護事業所にも周知を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・市民病院・京都ルネス病院から申請に繋がる人が多かった。その他にも、両丹新聞への広告依頼や、広報誌、健診かわら版への掲載を実施している。アピアランスケア支援事業については、見込み人数程度の申請に繋がった。若年がん患者在宅療養支援事業は見込み人数を下回った。 ・京都府内でも本事業を開始している自治体が増加しているが、助成額や対象品目は自治体によってさまざまである。市民病院やルネス病院では市外からの受診者も多いため、留意が必要である。 ・乳房補整具やウィッグを販売する店舗の情報を知りたいという市民が多く、情報収集する必要があった。
現状の課題に対する改善策	・がん治療医療機関、介護事業所等への事業周知を強化する。 ・SNSや広報誌、新聞など、広く事業周知を行う。 ・対象者が在宅療養へスムーズに移行できるよう、迅速な対応が必要である。医療機関との連携を図り、迅速に対応する。（在宅療養支援事業） ・乳房補整具やウィッグを販売する店舗の情報などを把握する（アピアランスケア支援事業） ・必要に応じて、申請者の困り事に関して、がん患者総合支援センター等を案内し、必要な支援につながる窓口を紹介する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	成人保健事業							事業コード	040104410326		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課				所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136・137	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	健康増進法・福知山市健康教育実施要領・福知山市健康手帳交付事業実施要綱・機能訓練事業実施要領・国民の健康づくり地方推進事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	健康増進計画推進事業 ・ 高血圧制圧のまちプロジェクト事業 ・ アクティブシティ推進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 健康増進法（第17条）、健康増進事業実施要領に基づくものであり、福知山市民が健康で長生きできるための施策の一つ。 京都府健診・医療・介護総合データベース（令和4年）では、福知山市は健診有所見率で肥満・血圧・脂質・血糖リスクのある者が男女ともに京都府全体と比較して多い。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 肥満・血圧・脂質・血糖リスクが高い状態は、将来的に市民自身のQOL・健康寿命の低下につながる。これを予防するためには健康に関する必要な知識の効果的な普及・情報提供や行動変容につながる保健指導の実施が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 教室や相談などを通して、生活習慣病予防の知識を普及させ、市民自らが健康づくりに取り組めるよう支援することで、市民のQOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・健康手帳交付：健康の保持増進のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるよう支援。 ・健康教育：市民及び家族を対象に疾病・生活習慣病予防のための教室を開催する。・健康相談：各保健福祉センター及び公民館等で健康に関する相談に応じ、助言を行う。・訪問指導：専門職が家庭を訪問し、健康に関する指導及び助言を行う。 ・機能訓練事業：18～64歳の心身の機能障害や低下が危惧される人に対し、個人の課題に沿った体操や療法士による個別体操の指導・助言、全員でレクリエーション等を行う。

対象者	概ね40～64歳の市民（但し業務によっては年齢制限あり）	対象者数	40,000	単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 負担金支出 ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	259	講師謝礼、その他謝礼	公課費	17	自動車重量税
需用費	719	消耗品費、印刷製本費、修繕料			
役務費	270	郵送料、法定点検手数料、自動車損害賠償保険料			
使用料及び賃借料	220	公用車賃借料			
備品購入費	5,194	庁用備品（公用車等）			
負担金補助及び交付金	391	理学療法士等派遣負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,172	7,444	1,759	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		2,172	7,444	1,759	
予算財源内訳	① 一般財源	1,446	1,918	1,051	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	726	726	708	
	④ 地方債	0	4,800	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	104	0		
	② 配当予算	2,276	7,444		
	③ 執行額	2,276	7,070		
	④ 執行率	100.0%	95.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.55 / 0.95	1.09 / 0.77	/	/
	② 概算人件費	15,060	10,876		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		17,336	17,946		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
		健康増進事業		衛生費府補助金	708		24	
		公用車		物品売払収入	62		33	
		養成講座教材費自己負担金		雑入	11		46	
		成人保健事業（脱炭素化推進）		衛生債	4,400		50	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	27.4	27.4	26.8	24.6		
	生活習慣改善の意欲がない者の割合	目標値		27	26.5	26	25.5	25	
		達成度	%	101%	103%	103%	96%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1,054	1,373	1,672	1,509		
	40-64歳の健康教育参加者数	当初見込		1,200	1,400	1,600	1,600	1,600	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・健康づくりに関する情報の発信（広報ふくちやま、LINE、Instagram、資料の配架、イベントでの啓発など） ・市民への健康教育実施の広報（広報カード、広報ふくちやま、LINE、Instagramちらしの設置など） ・効果的な指導、そのための職員のスキルアップ（研修の受講など）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・生活習慣改善の意欲がない者の割合は年々減少しており、「自らの健康は自らが守る」という意識が健康の保持増進に資している点については、一定の評価ができる。 ・成人保健事業は市民自らが疾病予防・健康増進に関する知識を身につけ、健康管理ができるよう支援するためのものであることから、当該事業で各取組みの利用総数を増加させる必要がある。また支援した人を他課、他機関等に必要に応じてつなげることが重要である。 ・特に40～64歳の中年期の利用を促し、高齢期になっても継続的に支援することが健康寿命の延伸につながる。健康教育に関しては更に参加者が増えるよう、他課とも連携し、若い世代対象の健康教室を実施することが必要である。
現状の課題に対する改善策	・健康増進事業としての健康教育は、対象年齢を下げて実施するとともに、LINEやインスタグラムなどのSNSの活用やWEB申込みなど、対象者に合わせた広報・周知を行う。 ・各センターごとの月1回の定例健康相談とあわせて、電話・訪問・来所・健診結果返しによる相談・指導を継続して実施し、40～64歳の利用者の行動変容に結びつける。また、その年齢の対象者に出会える機会である集団健診結果返しや、イベント等を通し、周知を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	前立腺がん検診事業							事業コード	040104410329	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	137 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	他事業を統合
根拠法令等	がん対策基本法、福知山市がん検診等事業実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・がんは本市の死亡原因の第1位である。 ・前立腺がんは男性の罹患数第1位である。早期発見・早期治療により、5年生存率が1番高いがんである。 ・地区医師会と協議し、市民にとって必要な検診であると判断している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・例年、一定数のがん確定例が報告されているが、前立腺がん検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・早期治療の充実を図るうえでの課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】 問診・血液検査（前立腺特異抗原：PSA値） 集団：保健福祉センターや地域公民館（8月～12月） 個別：市内の委託医療機関（5月～12月） 【自己負担金】200円（無料制度あり）

対象者	50歳以上の市民（男性）	対象者数	17,392	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都予防医学センター					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	30	個別検診帳票印刷、公用車燃料費			
役務費	110	郵送料、事務取扱手数料			
委託料	2,877	検診業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		2,898	2,898	48,949	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			2,898	2,898	48,949	
予算財源内訳	① 一般財源		2,890	2,890	47,512	
	② 国支出金		0	0	471	
	③ 府支出金		0	0	218	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		8	8	748	
決算情報	① 流充用額		△ 6	120		
	② 配当予算		2,892	3,018		
	③ 執行額		2,892	3,018		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.38 / 0.46	0.23 / 0.35	/	/
	② 概算人件費		4,328	2,820		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			7,220	5,838		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	検診等自己負担金（前立腺がん検診）	雑入	9	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0.6	0.4	0.3	0.7		
	がん発見率	目標値		0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
		達成度	%	90%	59%	46%	108%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	8.8	8.0	8.2	8.6		
	検診受診率	当初見込		10.9	8.8	9.8	9.6	9.2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・50歳以上の男性に向けたがん検診の実施。 ・かわら版を各戸配布。 ・受診率の低い52歳・64歳（R8.3.31時点）を対象に個別勧奨。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・毎年、前立腺がん検診の受診により、前立腺がんが発見され、早期発見・早期治療につながっているため、一定の評価はできる。 ・受診率向上を目的にSNSや健康教室、イベントなどにおいて検診受診の啓発を行っている。また、受診率の低い年代に向けて個別勧奨も実施した。実施方法としても、様々な検診が一度に受診できる集団検診や休日の検診、かかりつけの医療機関で受診できる個別検診など市民が受診しやすいよう工夫している。 ・課題としては、更に検診受診率や精密検査受診率を向上させていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・前立腺がん検診の検査方法は血液検査であり、がん検診としては受診しやすいため、特定健診の申込者に受診勧奨を行う。また、集団健（検）診の申込時には、前立腺がん検診も受診可能なことを案内し、受診を促す。 ・要精検者については、早期から電話での勧奨を行い、精検受診率の向上を図る。特に、要精検者であるが、要精密検査の判定の認識のない人がいるため、時期を逃さず、早めに受診勧奨を促す。 ・前立腺がん検診の個別勧奨ハガキ後、前立腺がん検診のみを受診する人が多かったため、対象者を絞って送付し、受診率の向上を図る。 ※令和8年度より、前立腺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、女性のためのがん検診（乳がん検診・子宮がん検診）を「がん検診」に統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	胃がん検診事業							事業コード	040104410330		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	137	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・がん対策基本法に基づいて実施している。 ・胃がんは、日本のがん罹患・がん死亡の上位を占めており、早期発見・早期治療が重要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 例年、一定数のがん確定例が報告されているが(令和5、6年度は0人)、胃がん検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・治療の充実を図る上での課題となっている。 胃内視鏡検診と胃X線検診の受診率は増加傾向にあるものの1～2%台であり、胃ABC検診は2%前後を推移している。 (R5胃内視鏡・胃X線検診受診率：全国6.8%、京都府4.9% ＊令和5年度地域保健・健康増進事業報告より)
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の死亡原因の第1位はがんである。啓発を含めたがん検診事業を実施することにより、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚症状がなくても早期発見、早期治療につなげることで、死亡比が低い水準を維持する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・実施方法、内容 ①X線検査(間接撮影法)②内視鏡検査(直接胃がんを発見する方法)③血液検査(胃がんの発生と密接に関係する萎縮性胃炎を判定する方法) ※①：集団検診のみ ②：個別検診のみ ③：集団・個別検診 ・自己負担金 ①500円(70歳以上は無料) ②3,000円(70歳以上は1,500円) ③500円 ※いずれも無料制度あり

対象者	①②50歳以上で偶数年齢の市民、 ③20・25・30・35・40・45～49歳で過去に市のABC検査を受けたことがない人	対象者数	26,634	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、福知山医師会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	142	消耗品費、燃料費、印刷製本費			
役務費	296	郵送料、事務取扱手数料			
委託料	6,432	検診業務委託料			
使用料及び賃借料	46	自動車借上料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算		7,836	7,638	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)			7,836	7,638	0	
予算財源内訳	① 一般財源		7,746	7,569	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		28	16	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		62	53	0	
決算情報	① 流充用額		△ 298	△ 87		
	② 配当予算		7,538	7,551		
	③ 執行額		7,538	6,915		
	④ 執行率		100.0%	91.6%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)		0.52 / 0.46	0.60 / 0.23	/	/
	② 概算人件費		5,448	5,444		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			12,986	12,359		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	疾病予防対策事業費等補助金	衛生費国庫補助金	44	16	
	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	衛生費府補助金	11	24	
	検診等自己負担金(胃がん検診)	雑入	62	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0.3	0.0	0.0	0.6		
	がん発見率	目標値		0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	
		達成度	%	52%	0%	0%	183%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	1.4	2	2.2	2		
	検診受診率	当初見込		2.2	2.2	2.5	2.5	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・広報ふくちやま、市SNSを活用した情報発信、かわら版の各戸配布 ・保健所と連携し、スーパーなどで検診受診の啓発の実施 ・受診可能な若い世代と、胃がんハイリスク者への個別受診勧奨の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・毎年がん検診の受診により胃がんなどの胃部疾患が発見されており、早期発見・早期治療、医療費の削減に繋がっており、一定の評価はできる。 ・胃がん検診の受診率向上のために、健康教室やイベント、SNSを活用した受診啓発を行っている。また、様々な検診が一度に受診できる集団検診や休日健診の実施、胃ABC検診(血液検査)においては医療機関で受診できる個別検診の導入等、市民が受診しやすいよう工夫している。 ・受診勧奨の内容を見直し、胃内視鏡検診・胃ABC検診は年代を絞り受診勧奨を実施したことで、受診者数が増加した。しかし、全国や京都府に比べて受診率は低く、早期発見・治療の充実を図る上での課題となっている。
現状の課題に対する改善策	・集団検診申込み時に対象年齢に応じたがん検診の受診を勧めることや、SNSの活用及び個別の受診勧奨による積極的な受診勧奨を行っていく。また、市民目線で分かりやすい案内文や受診勧奨資材を作成する。 ・胃ABC検診は若年のうちに受診し、異常の早期発見・早期治療につなげる必要があるため、実施医療機関を令和6年度に大幅な拡充(17か所)を行い、令和8年度からは21か所に拡充して受診機会の確保に努める。 ・50歳以上の偶数年齢の人は、X線検診と内視鏡検診どちらか選択して受診できるが、今後はより精度の高い内視鏡検診へと移行させていく。 ※令和8年度より、前立腺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、女性のためのがん検診（乳がん検診・子宮がん検診）を「がん検診」に統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大腸がん検診事業							事業コード	040104410331	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	137 頁
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	他事業へ統合
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・本市の死因原因の第1位はがんである。 ・大腸がんは早期発見・早期治療により、95%以上の人が治癒すると言われているため、定期検診の受診が重要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・例年、一定数のがん確定例が報告されているが、大腸がん検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・早期治療の充実を図るうえでの課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】問診・免疫便潜血2日法 集団：保健福祉センターや地域公民館（8～12月） 個別：市内の委託医療機関（5月～12月） 【自己負担金】300円（無料制度あり）

対象者	40歳以上の市民	対象者数	48,450	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都予防医学センター				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	174	消耗品費、燃料費、印刷製本費			
役務費	321	郵送料、事務取扱手数料			
委託料	3,313	検診業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		3,777	3,284	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		3,777	3,284	0	
予算財源内訳	① 一般財源		3,688	3,208	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		26	24	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		63	52	0	
決算情報	① 流充用額		△ 269	524		
	② 配当予算		3,508	3,808		
	③ 執行額		3,508	3,808		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.45 / 0.61	0.45 / 0.33	/	/
	② 概算人件費		5,308	4,524		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			8,816	8,332		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	疾病予防対策事業費等補助金	衛生費国庫補助金	73	16	
	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	衛生費府補助金	18	24	
	検診等自己負担金（大腸がん検診）	雑入	58	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0.3	0.5	0.1	0.3		
	がん発見率	目標値		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
		達成度	%	63%	115%	35%	68%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	6.0	6.0	6.1	6.3		
	検診受診率	当初見込		6.7	6.7	7.1	7.1	7.1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・40歳以上の市民に向けたがん検診の実施。 ・4月初旬にかわら版を各戸配布。 ・受診率の低い40歳～60歳を対象に個別勧奨。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・毎年がん検診受診により、大腸がん、特に早期がんが発見され、治療につながっているため、一定評価はできる。 ・大腸がん検診の受診率向上のために、イベント時や各事業所へ受診啓発などを行っている。実施方法としても様々な検診が1度に受診できる集団検診や休日の検診を設け、市民が受けやすいよう工夫している。 ・がんの死亡者数を減少させるためには、受診率の向上と毎年の受診を定着させることが課題である。
現状の課題に対する改善策	・個別検診では他の健（検）診と一緒に受けられることを積極的に案内していただくよう医療機関に依頼している。集団健（検）診においても、申込時にセットで受診可能なことを案内し、受診を促す。 ・要精検者については、検診の結果が分かり次第、早期から個別通知や電話での勧奨を行い、精検受診率の向上を図る。 ※令和8年度より、前立腺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、女性のためのがん検診（乳がん検診・子宮がん検診）を「がん検診」に統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	肺がん・結核検診事業							事業コード	040104410332		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521			
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	137・138	頁
計画期間	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱、感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律										
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・2023年の人口動態統計がん死亡データより、肺がんは日本人のがん死亡数の第1位（男性1位、女性2位）である。 ・肺がんは短期間に悪化しやすく、5年相対生存率は特に男性ではがんの各部位の中でも低いため、早期発見・早期治療が重要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・早期治療の充実を図るうえでの課題となっている。また、5年相対生存率が低いことからも、より一層の受診促進が求められる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。また、結核のハイリスク者（高齢者）を対象に結核検診を同時実施することにより、結核の早期発見、蔓延防止につなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】問診・胸部X線デジタル撮影 保健福祉センターや地域公民館、地域にある公民館等で巡回検診を実施（いずれも予約制で集団検診のみで実施） 【自己負担金】無料　ただし、喀痰検査が必要な場合は500円（喀痰検査は70歳以上無料、69歳以下には無料制度あり） 【実施期間】令和7年8月～令和7年12月

対象者	40歳以上の市民、65歳以上は結核検診を兼ねる	対象者数	48,450	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、京都府医師会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	42	喀痰容器代、消耗品費			
役務費	184	郵送料			
委託料	6,003	検診業務委託料、読影料、結核精密検査データ提供料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	7,183	6,396	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	7,183	6,396	0	
予算財源内訳	① 一般財源	7,151	6,366	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	22	20	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	10	10	0	
決算情報	① 流充用額	△ 888	△ 19		
	② 配当予算	6,295	6,377		
	③ 執行額	6,295	6,229		
	④ 執行率	100.0%	97.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.34 / 0.53	0.30 / 0.69	/	/
	② 概算人件費	4,204	4,332		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		10,499	10,561		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		疾病予防対策事業費等補助金		衛生費国庫補助金		66		16	
		市町村休日総合がん検診支援事業補助金		衛生費府補助金		12		24	
		検診等自己負担金（肺がん検診（喀たん））		雑入		4		43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0.07	0.14	0.07	0.00		
	がん発見率	目標値		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
		達成度	%	233%	467%	233%	0%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	3	2.9	3	2.9		
	がん検診受診率	当初見込		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・40歳以上の市民に向けたがん検診の実施。 ・かわら版を各戸配布。 ・受診率の低い40歳代、50歳代を対象に個別勧奨。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・受診希望者が多い会場では、キャンセル待ちの枠を設け、より多くの受診希望者が受診することにつながった。 ・健診会場の周辺地域では自治会文書にて広報を実施し、旧3町地域では防災無線での広報を実施。 ・検診委託業者の1日あたりの最低補償人数が、令和6年度～100人から140人に増加したため、最低補償人数の達成が難しい状況である。 ・建物の改築等で実施場所を変更したり、注意喚起が必要な会場があるため、地域の建物管理者と福知山市役所庁内の所管課への情報共有が必要。 ・国の指針により、喀痰検査は令和7年度で終了。
現状の課題に対する改善策	・実績に応じた会場調整、受付時間の設定、キャンセル枠の設置を継続していく。 ・検診受診率向上と最低補償人数を達成するべく、肺巡回の中央保健福祉センター実施日を増設する。 ・地域への広報とともに巡回検診実施会場の柔柔軟な調整、地域や庁内関係課との連携を継続していく。 ・国は重喫煙者に対する低線量CTによる肺がん検診の導入を検討しており、今後も動向をみながら実施方法を検討していく。 ※令和8年度より、前立腺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、女性のためのがん検診（乳がん検診・子宮がん検診）を「がん検診」に統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	女性のためのがん検診推進事業						事業コード	040104410361		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課				所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	139 頁
計画期間	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	他事業へ統合
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 女性のがん罹患者数において、乳がんは1位、子宮がんは5位と上位を占めており、早期発見・早期治療が重要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・全国平均や府の平均と比較し、受診率が低い ・クーポン対象の年齢においても、他の年代と同様に受診率が低い
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 乳がん検診、子宮がん検診を実施することで、予防に対する知識の普及を図るとともに、早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることにつなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・子宮頸がん：膣細胞診、組織診　・乳がん：マンモグラフィ検診　・対象者数：①子宮がん検診15,208人　②乳がん検診11,860人 ・子宮がん検診は満20歳、乳がん検診は満40歳の人に無料クーポン券を送付（5月末）　・無料クーポン券対象者のうち、未受診者には受診勧奨文送付（8月頃） ・実施方法：【集団】保健福祉センターや地域公民館（事前申込制）　【個別】市内の委託医療機関（乳がんは綾部市立病院も、子宮がんは府内の委託医療機関） ・自己負担金：①子宮がん検診　700円　②乳がん検診　40歳代1,000円　50歳以上700円（無料制度あり）・前年度、特別な理由により未受診の人への特例措置あり

対象者	①子宮がん検診：20歳以上の奇数年齢　②乳がん検診：40歳以上の奇数年齢	対象者数	27,068	単位あたりコスト 1.4
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）			
委託先・実施主体等	子宮がん検診：京都府医師会、京都予防医学センター　乳がん検診：福知山市医師会、綾部市立病院、京都予防医学センター			

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	646	消耗品費、印刷製本費、燃料費			
役務費	705	郵送料、子宮がん検診データ提供料、事務取扱手数料			
委託料	28,675	乳クラウドシステム構築、検診業務委託料、精度管理委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	25,398	33,135	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		25,398	33,135	0	
予算財源内訳	① 一般財源	24,212	27,382	0	
	② 国支出金	705	5,290	0	
	③ 府支出金	166	148	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	315	315	0	
決算情報	① 流充用額	60	△ 538		
	② 配当予算	25,458	32,597		
	③ 執行額	25,458	30,026		
	④ 執行率	100.0%	92.1%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.75 / 0.88	0.69 / 0.73	/	/
	② 概算人件費	8,464	7,564		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		33,922	37,590		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		女性のためのがん検診推進事業		衛生費国庫補助金		3,905		17	
		疾病予防対策事業費等補助金		衛生費国庫補助金		328		16	
		市町村休日総合がん検診支援事業補助金		衛生費府補助金		157		24	
		検診等自己負担金（乳がん検診）		雑入		160		43	
		検診等自己負担金（子宮がん検診）		雑入		137		43	
		検診案内かわら版広告収入		雑入		20		41	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0.37	0.07	0.27	0.39		
	乳がん発見率	目標値		0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	
		達成度	%	112%	21%	82%	118%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	10.9	10.9	12.4	10.7		
	乳がん検診　受診率	当初見込		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・検診対象者の内、特に受診してほしい年代の人に個別通知にて受診勧奨を行う。（クーポン対象者への案内も同様） ・市内のイベント、乳幼児健診、保育園などにポスターを掲示する。・SNSを活用して若い世代へ情報発信し、WEB申し込み者へも個別受診勧奨する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0.00	0.06	0.00	0.07		
	子宮がん発見率	目標値		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
		達成度	%	0%	200%	0%	233%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	10.2	9.6	10.2	9.1		
	子宮がん検診受診率	当初見込		12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・対象年齢を絞った受診勧奨ハガキの送付（クーポン対象者も）　・市外受診の啓発（WEB申請の整備、受診者への周知） ・クーポンの送付と未受診者への電話勧奨　・ポスターやSNSを活用した啓発								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・乳がん検診は4つの年齢層を対象に個別受診勧奨を実施するも、がんの好発年齢の40代の受診者数に伸び悩んでいる。（クーポン対象者の満40歳の受診率も低い） ・乳がん検診の結果を判定する読影を福知山医師会に委託しているが、過去のフィルム比較が必要なため、結果返却が遅くなっている。 ・子宮がん検診は受診率が前年度と比較して減少した。昨年度は受診率が増加したものの、その効果は持続しなかった。20代、30代の受診者数はやや増加した。長期的に見ると受診率は横ばいの状況である。
現状の課題に対する改善策	・乳がん検診は、引き続きクーポン対象者への個別案内の送付、未受診者勧奨を続ける。また、クーポン対象以外で受診してほしい年齢層を選んで個別勧奨を継続する。 ・乳がん検診の画像はフィルムからデジタル化に変更し、クラウド管理ができるよう令和7年度にシステムを構築した。今後クラウドシステムを活用し、迅速な結果返却を行う。 ・子宮がん検診は、クーポン対象者への個別案内の送付に加えて、電話勧奨を活用した積極的な受診勧奨を実施する。また、引き続きポスターによる啓発、SNS投稿頻度の向上などに努める。 ※令和8年度より、前立腺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、女性のためのがん検診（乳がん検診・子宮がん検診）を「がん検診」に統合。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	アクティブシティ推進事業							事業コード	040104410371	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課					所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	04保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	139 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市健康増進計画									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	保健衛生一般経費事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・運動・スポーツを習慣としている人や、意識的に身体を動かしている人が少ない。 （R2市民アンケート調査より、週1回以上の運動習慣がない人の割合が5割、1日の歩数が6000歩以上の人の割合が2割、意識的に身体を動かす人は3割。） （R7市民アンケート調査においても同様の傾向）
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・健康に対して無関心な人や、健康が大切だと認識していても行動につながらない人が、健康に関心をもち、運動やスポーツの活性化・習慣化につながるようなきっかけづくり、環境づくりに取り組む必要がある。 ・高血圧症をはじめとする生活習慣病を予防し、健康に長生きできるよう、全ての世代の市民が主体的に健康づくりに取り組めるような健康意識の醸成・動機づけが必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・運動やスポーツなどの多様な活動を盛んにすることで、アクティブ（活動的・能動的）でウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に充足感に満ちている）な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現をめざし、運動やスポーツなどの活性化、習慣化につながる仕組みづくり、環境づくり、きっかけづくりに、市民、団体、行政が一体となって取り組み、市民の健康度、幸福度の向上、健康寿命の延伸を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・日常の身体活動の促進を図る市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の運用（4年目）。 ・福知山市出身のオリンピアン中村友梨香さんを「アクティブシティ推進アドバイザー」として任命、情報発信、市民向けマラソン教室や親子運動講座等を開催。 ・本市の有効資源や自然環境を活用し、食や運動をテーマとしたアクティブライフ体験会の実施。 ・福知山市アクティブシティ推進事業補助金による市民団体等の支援。 ・他部署連携及び官民協働による、まちなかウォーキングイベント等の開催。 ・市民団体等で組織するアクティブシティ推進市民会議及び庁内の関係課（室）でのアクティブシティ庁内戦略会議の定期開催。
対象者	全市民　　対象者数 74,000　　単位あたりコスト 0.4
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	株式会社イーウェル、株式会社レントオール福知山、一般社団法人福知山地域振興社、一般社団法人福知山ユナイテッド、株式会社オカムラ

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	384	アクティブシティ推進アドバイザー謝礼、体験会講師謝礼			
需用費	410	イベント消耗品、減塩効果検証機器消耗品購入			
役務費	129	郵送料			
委託料	5,330	KENPOSアプリ保守・運用支援、イベント会場設営、体験会運営			
使用料及び賃借料	47	会場使用料、高速道路通行料			
負担金補助及び交付金	2,900	アクティブシティ推進事業補助金、KENPOS交換ポイント利用料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	17,732	11,322	9,802	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		17,732	11,322	9,802	
予算財源内訳	① 一般財源	13,116	6,561	1,451	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	4,616	3,661	3,351	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	1,100	5,000	
決算情報	① 流充用額	2,273	0		
	② 配当予算	20,005	11,322		
	③ 執行額	20,005	9,200		
	④ 執行率	100.0%	81.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.39 / 0.54	1.96 / 0.83	/	/
	② 概算人件費	12,632	18,004		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		32,637	27,204		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	アクティブシティ推進事業（きょうと地域連携交付金）	衛生費府補助金	3,310	24	
	アクティブポイント負担金	雑入	114	47	
	アクティブシティ推進事業参加者負担金	雑入	17	47	
	保健衛生費指定寄付金	保健衛生費指定寄付金	710	33	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	6,002	6,315	6,450	6,456		
	福知山KENPOS利用者の1日あたり平均歩数	目標値		6,000	6,200	6,400	6,500	6,600	
		達成度	%	100%	102%	101%	99%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	3,647	6,237	7,165	7,467		
	福知山KENPOSアプリ登録者数	当初見込		2,000	6,000	8,000	9,000	10,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・アプリ登録者を対象に、毎日のウォーキングや活動記録に対してポイントを付与し、楽しみながら自然に健康管理につながるしかけづくりを実施 ・アプリ登録者を対象に、アプリを活用したウオーキングイベントを実施（バーチャルウオーキング、企業対抗ウオーキングなど）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,231	1,688	1,907	2,130		
	官民協働によるアクティブシティ推進事業参加者数（延）	目標値		1,200	1,500	1,800	1,900	2,000	
		達成度	%	103%	113%	106%	112%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	団体	6	9	9	11		
	アクティブシティ推進市民団体数	当初見込		6	7	10	10	10	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・市民に対する官民協働事業の実施（市民団体がアクティブシティ推進事業補助金を活用して実施する事業、まちなかウォーキングイベント、アクティブライフ体験会、KENPOS企業対抗ウオーキング） ・市民会議においてアクティブシティ推進に向けた定期的な意見交流を図り、協働事業に反映する。また、新たに賛同いただける市民団体・企業等への働きかけを行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・福知山KENPOSの登録者数は7,400人を超え、幅広い年代での登録を維持しているものの、令和6年度末のふくぽ終了やポイント付与数見直しにより、利用率は減少傾向にある。登録のきっかけがポイント活動である「健康に対して無関心な人」が利用したくなるような魅力、楽しみ要素を取り入れる必要がある。 ・アプリ操作支援の負担増大（特にふくぽ終了によりポイント交換の仕組みが複雑化したことによるポイント交換支援）。 ・企業版ふるさと納税寄附金の財源確保ができた。 ・今年度本格的に実施したアクティブライフ体験会（年3回）では、楽しさを前面に押し出すことで、健康無関心層の参加につなげることができ、大変好評であった。 ・市民会議での意見聴取や庁内戦略会議での他部署連携を重ね、イベントをはじめとする協働事業が実施できた。また、ウエルビーイングをより広くとらえて、運動やスポーツに加えて新たに心の健康にアプローチした協働事業が実施できた。
現状の課題に対する改善策	・福知山KENPOSアプリの継続利用・更なる普及促進を図り、アプリを活用したウオーキング等の実践をとおして、楽しみながら健康活動に取り組む市民を増やし、身体活動の活性化、健診受診率向上につなげる。 ・引き続き本事業の魅力を発信し、企業版ふるさと納税寄附などの財源確保に努める。 ・健康に関心をもつきっかけづくりとなる体験会を継続実施し、より広い世代に向けた無関心層へのアプローチを行う。 ・アクティブシティ推進に賛同いただける市民団体・企業への働きかけを行い、官民協働での取組を広げていく。 ・アプローチの難しい働き世代を中心とした健康無関心層に対する啓発手法として、保健所等の関係機関や企業との新たな連携を模索していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国保賦課・徴収業務経費							事業コード	1.02014502130102E+22	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	01総務費	項	02徴収費	目	01賦課徴収費	会計	02 国保	決算附属資料	225 頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	国民健康保険法、福知山市債権管理条例、福知山市滞納金督促条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 府・市共同事業 ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・国民健康保険の健全な運営のため、適正に国民健康保険料の賦課・収納を実施する。 ・京都地方税機構の構成団体として、滞納となった国保料を京都地方税機構へ移管する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・適正な賦課・収納のために、職員それぞれが知識・スキルの向上に努め、課題等に迅速に対応することにより国保運営が滞ることのないよう取り組む。 ・窓口折衝の平準化及び強化を図り、京都地方税機構と連携して、現年度分及び滞納繰越分の収納率を維持する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・国民健康保険事業の財源である国民健康保険料について、適正公平な賦課・徴収を実施することで保険料を確保し、健全な国保運営を行う。 ・納付義務者の利便性向上を図るとともに、滞納整理事務を効果的、効率的に行い、適正な賦課と確実な徴収により収納率の向上につなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国民健康保険被保険者に対し、世帯ごとに国民健康保険料を賦課し徴収を行う。 ①保険料決定通知書兼納付書の送付 ②口座振替の推進(ペイジー利用) ③督促状の発送 ④所得照会等 ⑤バーコード決済など納付方法の利便性向上の取組み ・滞納となった国保料を京都地方税機構へ移管し、適正な滞納整理により収納率の向上と保険料収入の確保及び負担の公平性を担保する。

対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	11,104	単位あたりコスト	4.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社ケーケーシー情報システム 寿フォーム印刷株式会社					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	403	納付書・督促状印刷			
役務費	4,045	郵送料、公金取扱手数料			
委託料	3,925	国民健康保険料決定通知書等封入封かん業務委託			
負担金補助及び交付金	23,828	京都地方税機構負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算		33,566	33,472	32,517	0
	② 補正予算		2,915	3,130	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)			36,481	36,602	32,517	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	1,342	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		36,481	36,602	31,175	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		36,481	36,602		
	③ 執行額		33,013	32,201		
	④ 執行率		90.5%	88.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		1.61 / 0.25	1.62 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		13,580	12,960		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			46,593	45,161		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
	府繰入金（2号分）		保険給付費等交付金		1,361		222		
	職員給与費等繰入金		一般会計繰入金		29,522		222		
	デジタル基盤改革支援補助金		システム整備補助金		739		221		
	督促手数料		督促手数料		579		221		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	96.1	96.5	96.8	96.7		
	国保料（現年分）収納率	目標値		96.0	97.0	97.0	97.0	97.0	
		達成度	%	100%	99%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	口座振替勧奨通知の送付	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・ペイジー口座振替受付や口座振替勧奨通知の送付により、納期内納付の推進及び納付者の利便性向上につなげる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	35.2	38.1	36.0	35.6		
	国保料（滞納繰越分）収納率	目標値		38.0	37.0	37.0	37.0	37.0	
		達成度	%	93%	103%	97%	96%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	235	255	256	355		
	差押・交付要求	当初見込		230	240	240	240	250	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	税機構に収納率の向上を求めると共に、構成団体として滞納者に係る情報共有などを細かに行い連携を強化する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・現年度分について、収納率は令和2年度から5年連続で96％台を維持しており、令和7年度においても、納期内納付の促進のため口座振替登録の勧奨を積極的に行った。 ・滞納繰越分については、税機構移管前と比べて収納率は大きく向上しており、京都地方税機構への移管による保険料の収納は有効である。（税機構移管前H21国保料滞納繰越分収納率：14.73％） ・京都地方税機構との連携においては、情報共有を綿密に行い、資力のある滞納者からの徴収を確実に実施し、不納欠損を適切に行う。
現状の課題に対する改善策	・国保の安定運営のため、より効果的な口座振替の推奨の工夫や、きめ細かな対応を行い、収納率の向上をめざす。 ・京都地方税機構に収納率の向上を求めると共に、構成団体としての連携を強めることで、滞納繰越分だけでなく、現年度分の滞納についても年度内の納付を促進し、収納率の向上につなげる。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	健康増進事業一般経費							事業コード	040201450252	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	04保健事業費	項	02保健事業費	目	01保健衛生普及費	会計	02 国保	決算附属資料	228 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市国民健康保険第3期データヘルス計画		R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法ほか									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・令和4年度の健診結果から、特にHbA1c（※血糖値の高さに関する指標）と収縮期血圧は京都府市町村平均より5%以上高くなっており、心臓病と脳疾患の死因割合が高く、新規透析患者の割合も高い。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・BMI、腹囲、高血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）の有所見者の割合が年々上昇している。 ・空腹時血糖の有所見者の割合は上昇傾向にあり、HbA1cは高い割合が続いている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・効果的な保健事業を実施するための国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）で抽出した健康課題を解決するため、イベントでの啓発や健康教室等で病気に対する知識を深め、被保険者に健康管理の大切さを意識付け、疾患の重症化を予防する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①ロコモ予防講座（骨粗しょう症予防含む） ・60～74歳までの福知山市民を対象に2回シリーズで実施。体力測定、運動指導員の話と実践、栄養士の話、個人の目標立案の支援を行う。 ②高血圧予防教室 ・福知山市民を対象に令和7年度は1回実施。保健師、栄養士の話、食生活改善推進員による減塩方法の紹介等を行う。 ③各支所等で行われるイベントでの健康啓発コーナーで健診の啓発や健康チェック等実施。

対象者	福知山市国民健康保険被保険者（40歳以上）	対象者数	9,672	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	18	運動指導員講師謝礼			
旅費	13	出張旅費			
需用費	96	試食材料費、消耗品購入			
役務費	11	郵送料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	227	231	195	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		227	231	195	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	227	231	195	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	227	231		
	③ 執行額	126	138		
	④ 執行率	55.5%	59.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.11 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	880	640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		1,006	778		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
	府繰入金（2号分）		保険給付費等交付金		138		222		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	461.4	447.7	446.0	427.8		
	国保1000人当たりの患者数	目標値		435.2	417.1	399.0	380.9	362.9	
		達成度	%	106%	107%	112%	112%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42	37	41	57		
	参加者数（実）	当初見込		100	100	50	50	50	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	健診結果や市の医療費を分析した結果から、高血圧予防、ロコモティブシンドローム予防、糖尿病予防等の健康課題に応じた優先順位の高い教室を開催する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・健康医療課と事業内容の共有を行い連携を行いながら実施できている。 ・集団健診で特定健診を受診された人は全員、対面で結果を返却しており、教室の案内も併せて行うことができている。 ・保健師、栄養士、運動指導員が教室を実施しているが、参加者は生活習慣を見直し、疾病予防の意識が高まっていることから、健康増進に繋がっていると考える。
現状の課題に対する改善策	・SNSを活用した健康情報の発信や効果的な事業周知について検討していく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国保健診事業						事業コード	040202450282	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司		
会計情報	款	04保健事業費	項	02保健事業費	目	02疾病予防費	会計	02 国保	決算附属資料	229	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市健康増進計画、福知山市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画		R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法ほか									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・被保険者の健康の保持増進のために必要な事業。 ・本市の国保における一人当たり医療費は、府内の自治体の中でも高い傾向が続いている。 ・歯周疾患は、全身の健康状態や生活習慣病にも様々な影響を及ぼすため、歯科健診による早期発見が重要となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・がん検診、歯科健診受診率がほぼ横ばいのため、受診率を上げ、疾病の早期発見や重症化予防を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・国保被保険者の病気の予防に対する知識を普及させる。 ・自覚症状のない病気の早期の発見、早期治療につなげ、対象者の生活の質を高める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①大腸がん検診（40歳以上）：便潜血2日法、自己負担金300円（無料制度あり）②前立腺がん検診（50歳以上の男性） ：腫瘍マーカーPSA検査、自己負担金200円（無料制度有）※①②は、集団検診（保健福祉センターや地域公民館）、個別検診（市内の委託医療機関）にて実施 ③妊婦歯科健診：母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査受診票を交付、出産日までに協力歯科医療機関において個別健診を受診、自己負担金0円（対象者全員無料） ※①②は健康医療課、③は子ども政策室で実施する方法に準じる。 ④国保歯科健診（年度末年齢20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の国保被保険者）：対象者へ受診券を交付、協力歯科医療機関において個別健診を受診、自己負担金0円（対象者全員無料）

対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	11,104	単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会、京都府丹波歯科医師会、一般財団法人京都予防医学センター					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	89	消耗品購入			
役務費	162	郵送料			
委託料	4,735	検診委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	7,520	7,139	5,675	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		7,520	7,139	5,675	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	4,798	3,222	2,984	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	2,722	3,917	2,691	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	7,520	7,139		
	③ 執行額	4,835	4,986		
	④ 執行率	64.3%	69.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.25 / 0.10	0.05 / 0.10	/	/
	② 概算人件費	2,280	680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,115	5,666		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	府繰入金（2号分）	保険給付費等交付金	1,873	222	
	検診事業分繰入金	一般会計繰入金	3,037	222	
	前立腺がん検診自己負担金	雑入	16	223	
	大腸がん検診自己負担金	雑入	60	223	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	90.8	90.2	82.4	86.4		
	大腸がん検診　精密検査受診者率	目標値		93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	
		達成度	%	98%	97%	89%	93%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	14.8	15.3	14.6	15.3		
	大腸がん検診受診率	当初見込		15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	40歳以上の国保被保険者に大腸がん検診を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	89.0	83.6	87.8	90.0		
	精密検査受診者率	目標値		89.0	89.0	89.4	89.7	90.0	
		達成度	%	100%	94%	98%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	10.9	11.1	10.8	9.5		
	歯科健診受診率	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	年度末年齢20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の国保被保険者に対して歯科健診を実施する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	受診後の精密検査については、比較的受診される傾向にあるので、まずは健（検）診受診率の向上が課題である。
現状の課題に対する改善策	効果的な広報、受診勧奨を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国保運営事務事業							事業コード	複 010101450201 他		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ							施策コード	521	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司			
会計情報	款	（複数科目合算）	項	（複数科目合算）	目	（複数科目合算）	会計	02 国保	決算附属資料	224・225・227・229	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法ほか										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国民健康保険法に基づく事務 ほか ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成30年度に国民健康保険の制度改革により財政運営は都道府県が中心となり、市町村は地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付等の地域におけるきめ細かい事業を引き続き担うこととされている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 国民健康保険加入者が安心して医療を受け、健康の保持増進が図られるように資格の適正化を行い国保財政を健全かつ安定的な運営を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・国民健康保険加入者が安心して医療を受け、健康の保持増進が図られるように資格の適正化を行い国保財政を健全かつ安定的に運営し、各種給付制度を利用できるようにする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国民健康保険の資格管理・保険給付を実施。①資格取得・喪失等の受付、脱退勧奨事務 ②高額療養費・療養費等給付申請受付事務 ③予算・決算事務 ・基金事業の実施 ・事業納付金対応 ・国民健康保険運営協議会の開催 「主な利用特財その他分」産前産後保険料繰入金（一般会計繰入金）885千円222頁、職員給与費等繰入金（一般会計繰入金）106,740千円222頁、財政安定化支援事業繰入金（一般会計繰入金）41,598千円222頁、地方単独事業分（一般会計繰入金）31,435千円222頁、緊急不況生活支援対策国保料減免分繰入金（一般会計繰入金）516千円222頁、基金繰入金（国民健康保険事業基金繰入金）55,129千円222頁、子ども・子育て支援事業費補助金（システム整備補助金）17,309千円221頁

対象者	福知山市国民健康保険の被保険者	対象者数	11,104	単位あたりコスト	179.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会、市町村基幹業務支援システム開発共同企業体代表企業 株式会社ケーケーシー情報システム ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	66	謝礼（がん検診アンバサダー就任式）	備品購入費	85	HDD購入、窓口用椅子購入
旅費	50	出張旅費	負担金補助及び交付金	1,787,767	京都府への納付金
需用費	1,277	消耗品購入,医療証印刷	積立金	54,360	基金積立金
役務費	12,377	郵送料、被保険者情報異動管理事務手数料	公課費	41	自動車重量税
委託料	18,538	システム改修費	報酬	4,657	会計任用職員報酬、国保運営協議会委員報酬
使用料及び賃借料	230	複写機使用料	給料 他	85,062	給与、職員手当

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,835,311	1,907,295	1,861,601	0
	② 補正予算		130,922	63,315	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,966,233	1,970,610	1,861,601	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		7,808	33,958	39,277	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,958,425	1,936,652	1,822,324	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		1,966,233	1,970,610		
	③ 執行額		1,957,122	1,964,510		
	④ 執行率		99.5%	99.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		2.66 / 0.49	3.24 / 0.30	/	/
	② 概算人件費		22,652	26,760		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,979,774	1,991,270		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	保険者努力支援分	保険給付費等交付金	26,125	222	
	特別調整交付金分（市町村分）	保険給付費等交付金	62,293	222	
	府繰入金（2号分）	保険給付費等交付金	56	222	
	保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）	一般会計繰入金	230,738	222	
	保険基盤安定（保険者支援分）	一般会計繰入金	132,957	222	
	未就学児均等割保険料繰入金	一般会計繰入金	2,690	222	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2	2		
	国保運営協議会開催	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	被保険者を代表する委員　5人、保険医又は保険薬剤師を代表する委員　5人、公益を代表する委員　5人、被用者保険等保険者を代表する委員　1人を選出し、福知山市の徴収及び運営方針その他の重要事項を審議する。ニュースリリースによる周知を行い、国民健康保険事業の適正化を図れるようにする。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	0	1	2	2		
	国民健康保険脱退勧奨の実施	当初見込		0	1	2	2	2	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各医療保険者がオンライン資格確認のために医療保険者向け中間サーバーに登録した資格情報と福知山市国民健康保険の資格が重複している人に対し脱退の勧奨を送付する。また、勧奨に対し連絡がない人に対し職権にて福知山市国民健康保険の脱退を行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・制度改正に対しては、期限内に対応ができている（システム改修、条例等の改正、広報等）。 ・国保運営協議会については、予定通り開催をした。また、諮問を行い答申を受けることができている。 ・基金残高が減少しているため、慎重な予算管理、保険料設定が必要となる。 ・自治体システム標準化への対応。
現状の課題に対する改善策	・今後も継続的に毎年度の制度改正に対応してシステムなどを利用し効率的で適正な事業運営をしていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	医療費適正化事業						事業コード	複 010101450209 他	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521	
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課			所属長	高見 眞司			
会計情報	款	（複数科目合算）	項	（複数科目合算）	目	（複数科目合算）	会計	02 国保	決算附属資料	224・225・228	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市国民健康保険第3期データヘルス計画		R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	国民健康保険法ほか										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 全国的に一人当たりの医療費は増加傾向であり、本市の国民健康保険においても被保険者一人当たりの医療費は、年々増加傾向である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 福知山市国保の一人当たり医療費は、京都府の中でも高い。(府下15市中 4位(R7))
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 国民健康保険事業の安定した継続のため、被保険者の医療に関する意識の啓発及び医療費の適正化を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・被保険者に本市の国保制度に関するパンフレット及び、実際の受診による医療費の通知を送付する。 ・被保険者の受診状況のデータから、後発医薬品に置き換えた場合に、差額が発生する被保険者に通知を行う。 ・被保険者に重複、多剤服薬の該当者がいないか確認し、医師、薬剤師と連携して該当者に通知を行う。 ・適正な資格管理と保険給付を行うため、レセプト点検を実施する。

対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	11,104	単位あたりコスト	1.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会、株式会社現代けんこう出版					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	231	リーフレット作成			
役務費	4,567	レセプト点検手数料、郵送料			
委託料	1,529	国保パンフレット作成封入封かん委託業務			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	9,242	8,492	6,815	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		9,242	8,492	6,815	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	7,565	6,943	5,326	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,677	1,549	1,489	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	9,242	8,492		
	③ 執行額	6,539	6,327		
	④ 執行率	70.8%	74.5%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.51 / 1.28	0.29 / 0.95	/	/
	② 概算人件費	7,664	4,980		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,203	11,307		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
	府繰入金(2号分)		保険給付費等交付金		6,260		222		
	職員給与費等繰入金		一般会計繰入金		1		222		
	社会保障・税番号制度システム整備費補助金		システム整備補助金		66		221		

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	78.6	80.5	82.9	87.0		
	被保険者の後発医薬品使用割合（数量シェア）の向上	目標値		―	―	78.6	79.3	80.0	
		達成度	%	―	―	105%	110%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2	2		
	後発医薬品差額通知回数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	【後発医薬品差額通知についての説明】 ※　医療費適正化のため、後発医薬品差額通知を年2回発送する。高齢化による医療費の増加が見込まれることにより、医療費の適正化が重要な課題となっていることから後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及促進を行い、患者負担の軽減や医療保険財政の健全化を目的とする。国保総合システムよりダウンロードした情報により国保総合システムに抽出条件を登録することで、京都府国民健康保険団体連合会において対象者を抽出したうえで通知書を作成し、対象者へ通知する。令和7年7月及び令和8年1月調剤分のうち、後発医薬品に置き換えた場合に差額が発生する全ての薬効分類名称を対象とし、効果額が一薬剤あたり100円以上の場合を対象としている。							

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	53	59	45	83		
	重複・多剤解消割合	目標値		―	―	50	55	60	
		達成度	%	―	―	90%	151%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	重複服薬該当者への通知回数	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	【重複服薬者通知についての説明】 ※　医療費適正化のため、年1回送付する。被保険者に対して行う保健事業の一環として、かかりつけの医師や薬剤師・薬局による服薬情報の一元的管理を推進するため、重複服薬に該当すると思われる被保険者に対しての服薬情報の通知事業。同一月に2以上の医療機関から、同一薬効の医薬品を令和7年4月から5月の2か月連続して7日以上重複して処方された者を通知対象としている。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	多剤服薬者に対する情報の抽出方法、通知方法（解消を促すための内容含む）が確立できていない。
現状の課題に対する改善策	多剤服薬者に対する抽出、通知を実施している他市町を調査し、本市で実施できる手順を確立する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	保険給付事業					事業コード	複 020101450218 他		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課			所属長	高見 眞司			
会計情報	款	02 保険給付費	項	（複数科目合算）	目	（複数科目合算）	会計	02 国保	決算附属資料	226・227	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	国民健康保険法、福知山市国民健康保険条例、感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律、障害者総合支援法に規定する第58条に規定する指定自立支援医療のうち障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行ほか								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国民皆保険の維持のために実施する事業であり、府が広域的及び効率的な国保事業運営のために定めた方針を踏まえ、被保険者に対しきめ細かい給付事業を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ マイナ保険証への移行による被保険者証廃止や、高額療養費負担区分の変更の検討などの制度改正に迅速に対応するとともに、継続的に保険給付を受けるにあたって被保険者が不安を感じることがないよう正確な情報の周知を行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・国民健康保険被保険者が疾病等により健康の維持・回復のため医療機関等で受療した医療について保険給付（現物給付・現金給付）を行う。 ・国民健康保険加入世帯の出産育児・葬祭に係る経済的な負担軽減を図る。 ・国民健康保険加入世帯の精神疾患、結核に係る医療費の負担軽減を図り健康の保持増進に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・被保険者への各種給付（現物給付・現金給付）を行う。 ・被保険者への窓口やパンフレット等での正確な情報の周知（被保険者証廃止後でも引き続き医療が受けられる等） ・個別の勧奨通知を通じた被保険者が受けられる給付の幅広い周知、広報

対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	11,104	単位あたりコスト	404.4
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	9,425	レセプト審査手数料			
負担金補助及び交付金	4,461,449	医療費の保険者負担分			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		5,379,282	4,657,818	4,787,874	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		5,379,282	4,657,818	4,787,874	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		5,337,858	4,598,329	4,732,322	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		41,424	59,489	55,552	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		5,379,282	4,657,818		
	③ 執行額		4,634,271	4,470,874		
	④ 執行率		86.2%	96.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.54 / 0.14	2.24 / 0.40	/	/
	② 概算人件費		4,712	19,040		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			4,638,983	4,489,914		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
保険給付費等交付金（普通交付金）	保険給付費等交付金	4,431,179	222	
特別調整交付金分（市町村分）	保険給付費等交付金	4,371	222	
府繰入金（2号分）	保険給付費等交付金	8,513	222	
出産育児一時金繰入金	一般会計繰入金	7,524	222	
財政安定化支援事業繰入金	一般会計繰入金	9,420	222	
国民健康保険事業基金繰入金	国民健康保険事業基金繰入金	4,421	222・223	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	10	11	11	12		
	高額療養費支給申請勧奨送付回数	当初見込		12	12	12	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	高額療養費該当者に対して申請勧奨通知を月１回送付する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	葬祭費、出産育児一時金差額支給申請勧奨送付回数	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	葬祭費、出産育児一時金差額支給申請勧奨も行い、申請を容易にするのためオンラインでの申請も選択肢に加え勧奨する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・被保険者が安心して保険給付を受けることができ、健康保持増進に有効である。 ・医療費の抑制
現状の課題に対する改善策	高額な医療費が発生する前に、健診などの受診により病気の早期発見や保健指導を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業							事業コード	040102410351		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ							施策コード	521	
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課					所属長	荒賀 正之			
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	02予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	133	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第2次福知山市健康増進計画、福知山市子ども・子育て支援事業計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	子宮がん検診（健康医療課）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 H22年度から開始した予防接種であるが、副反応が疑われ、H25年6月から、積極的勧奨を控えることとなった。副反応の検証が行われた後、R2年11月から接種できる案内を行った。その後、令和4年4月から、積極的勧奨を行うこととなり、通常の定期の対象と、差し控えていた時期の対象者全てに、キャッチアップ接種として、予診票の有効期限を延長し案内した。R6年11月頃から接種者の増加によりワクチン不足となり、R6年度までに1回でも接種した対象者は1年間の期間の中で完了できることとなった。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 15歳未満で9価ワクチン1回目接種の場合は2回接種完了となるなど、開始年齢により接種回数が異なるため、対象者の把握が難しい。 幼少期と違い、対象者自身が接種の判断・意思表示をすることにより、接種率も上がりにくいと思われる。しかし有効期限が迫り勧奨を行うと、周りの接種状況を見て接種する人も出てくる傾向にあるため、最終個別勧奨は大切である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ワクチン接種をすることで、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐとともに、子宮頸がん検診によって子宮頸がんの発症や死亡の減少が期待できる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 医療機関で3回個別接種（15歳未満で9価ワクチン1回目接種の場合は2回接種完了）した費用負担を行う。 中学1年生の女子の定期接種対象者に予診票を送付。 新たに経過措置対象者となる平成9年4月2日生～平成21年4月1日生の女性で、令和4年4月1日から令和7年3月31日迄に1回以上接種した接種未完了分の予診票を送付。指定医療機関以外で接種した者へは、償還払いで対応する。

対象者	定期：中学1年～高校1年生相当、経過措置（R4.4.1～R7.3.31迄に1回以上接種した者：平成9年度～20年度生まれの未接種の女性	対象者数	1,481	単位あたりコスト	11.9	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都府医師会(広域)・福知山医師会・京都府国民健康保険団体連合会・京都府立医科大学附属病院					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	10	予診票、送付用封筒、保護者宛文書等			
役務費	63	事業にかかる郵送料、国保連合会事務取扱手数料			
委託料	16,282	予防接種医療機関委託料			
負担金補助及び交付金	95	RSウイルスワクチンの定期接種化に伴う広域予防接種関係システムの開発費用負担に伴う予算流用			
扶助費	73	指定外医療機関接種者への償還払い			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	26,913	22,460	17,226	0
	② 補正予算	34,102	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		61,015	22,460	17,226	
予算財源内訳	① 一般財源	60,905	22,460	17,226	
	② 国支出金	110	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	1,162	0		
	② 配当予算	62,177	22,460		
	③ 執行額	55,927	16,522		
	④ 執行率	89.9%	73.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.10 / 0.24	0.06 / 0.22	/	/
	② 概算人件費	1,472	1,096		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		57,399	17,618		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	17.0	15.5	24.4	57.5		
	令和6年度まで：全対象者のうち、その年度内に接種をした者の割合 令和7年度から：当該年度に高校1年生相当となった者のうち、接種を完了した者の割合	目標値		50.0	50.0	50.0	70.0	70.0	
		達成度	%	34%	31%	49%	82%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	5	5	15	7		
	接種勧奨回数 （個人通知。その他メディアを通じた啓発等）	当初見込		5	5	5	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	定期の最終年度である高校1年相当の未完了者に、6月にはがきで接種勧奨を行った。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・接種有効期限が4年間（中学1年生から高校1年相当の年度末）と長く、接種開始が案内した直後にならない傾向があり、最終的に高校1年生相当年度までの完了率で判断することとなる。 ・キャッチアップ接種の終了に伴い、期間内に接種を開始した者が規定回数を完了できるよう経過措置が設けられた。本措置の対象者155人に対する接種完了率は47.7%となった。 ・子宮頸がんは急性期疾患ではない為、効果の判断は、将来に渡る年月を経たものになる。
現状の課題に対する改善策	・医療機関への周知については、継続して定期A類疾病予防接種取扱手順を発行するとともに、問い合わせ時に、丁寧に説明を行う。 ・15歳未満での早期接種を促すため、新たに14歳6か月時に個別勧奨を実施する。これに加え、従来の高校1年生相当の夏前における未接種勧奨も併せて行い、適切な時期での確実な接種を推進する。